

2025年 10月の給食だより

10月は「世界食料テー」月間

す。日本では10月の1か月間を「世界食料デー」月間としています。世界食料デー をきっかけに、私たちが毎日食べているものはどこからきているのか考え、作って くれた人 に感謝したり、世界中のみんなが食べられるような世界にするには何がで きるのか、考えてみましょう。世界では、すべての人が十分に食べられるだけの 食糧 が生産 されているのに、78億人の世界の人口のうち、8億2160万人 の人 の食糧 が不足 しています。世界中のみんなが食べられるようにするにはどう したらいいのか、「世界食料デー」月間をきっかけに考え、自分ができることから 取り組んでみましょう。



食品業者

231トン

10月は「世界食料デ・

世界では、すべての人が十分に食べられるだけの資料が整産されているのに、最大8億2800 万人が飢えています。一方で、たくさんの食べ物を構入しながら、たくさん捨てている粒た ち。世界中のみんなが食べられるようにするにはどうしたらいいのか、「世界食料デー」月 間をきっかけに[™]緒に考えてみませんか?

日本でまだ食べられるのに捨てられる食べ物

前学ミス、規格外温

始端前前切れ



1 0 8 W

食品口ス量令和5年度総務省人口推計2023年10月1日

食品ロス量 1⊟102a

家庭 233トン

国民一人当たりの



食べ残し

食べ物を大切にしよう! 「もったいない」ことを減

ロスを減らすために 賞味期限、消費期限を正しく理解しましょう。

消費期限:食べても安全な期限 賞味期限:おいしく食べることができる期限 この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。自分で食べられるか どうか判断することも大切です。



苦手な食べ物も健康 や丈夫に成長するた めに必要な栄養をと るために食べる努力 をしよう!

クラスのみんなで協

力し、素早く準備を

行い、食事時間をな

るべく長く確保しま

しょう!



給食を活動の力にしている。

給食は、丈夫な成長、健康の維持や学校での学習活動を一生

懸命行うために保護者の方からいただいた大切なお金で作られ

給食のエネルギーを学習や運動の力にしていくことで、

3品ロスをへらしていきましょう!

学習活動を頑張るために、 給食をしっかり食べ、パ ワーにしていきましょう! 成長のチャンスの時期を 過ごしている皆さんは、食 事のエネルギーを心も体も 成長するための力にしてい きましょう!

給食は家の食事 のように残ったも

のを保存しておく ことはできません。



5.0

ています。

6 6

気候がすずしくなる10月はスポーツを行うにも最適の時期です。適度な運動は、<u>カルシウム吸収を上昇させ骨を丈夫にしたり</u>、<u>生活習慣病予防に効果</u>があります。普段、運動の習慣がな い方も爽やかな秋に家族そろって運動を始めてみませんか?運動の時間がとれない場合は、<u>お手伝いをするなど生活の中で積極的に体を動かすようにしましょう</u>。また、秋はスポーツの大 会や行事などがたくさん行われますね。練習の成果を十分に発揮するための食事について考えてみましょう。

が発揮できる食事のポイント

①内容は→主食・主菜・副菜・汁物をそろえてたべよう! 1日3食のリズムよく!

主菜:筋肉・骨を成長、丈夫に する働きがあり、速く走ったり、遠く へ投げられるような体をつくるもとになり ます。

主食: 体や脳を動かす働きがあ り、走ったり、投げたりするエネルギー源や 素早く判断する力となり、足りないとスタミ 十切れに!



副菜、汁物、果物: 体の調子をととのえ る働きがあり、野菜 や海藻に含まれるビタミ ン、ミネラルは疲労回復 や集中力を高める効果が あります。 果物に含まれる クエン酸は疲労回復の効果 があります。

2 量は→主食・主菜・副 菜・汁物の量は給食の量 位をきちんと食べよう。 (毎日の給食で確認しよう。)



3 不足しがちな栄養素を補おう!



小学生~中学生の成長期にあたる時期は 成長のためたくさんの概分やカルシウムが使 われるのですが、どちらの栄養素も激しい 運動で汗と一緒に流れ出てしまう栄養素で 激しい運動を支えるために、鎌分や力 ルシウムを含む食品を覚えしっかり食事に取

> 給食の牛乳も残さず飲み、 失われやすいカルシウムを 補っていきましょう!



体中に酸素や栄養を運ぶ 赤血球の素になる鉄分

レバー・肉、背の青い魚、豆 製品、貝類、海藻類、青菜等



丈夫な骨を作るカルシウム

豆・乳製品・小魚・海藻・青菜 等





